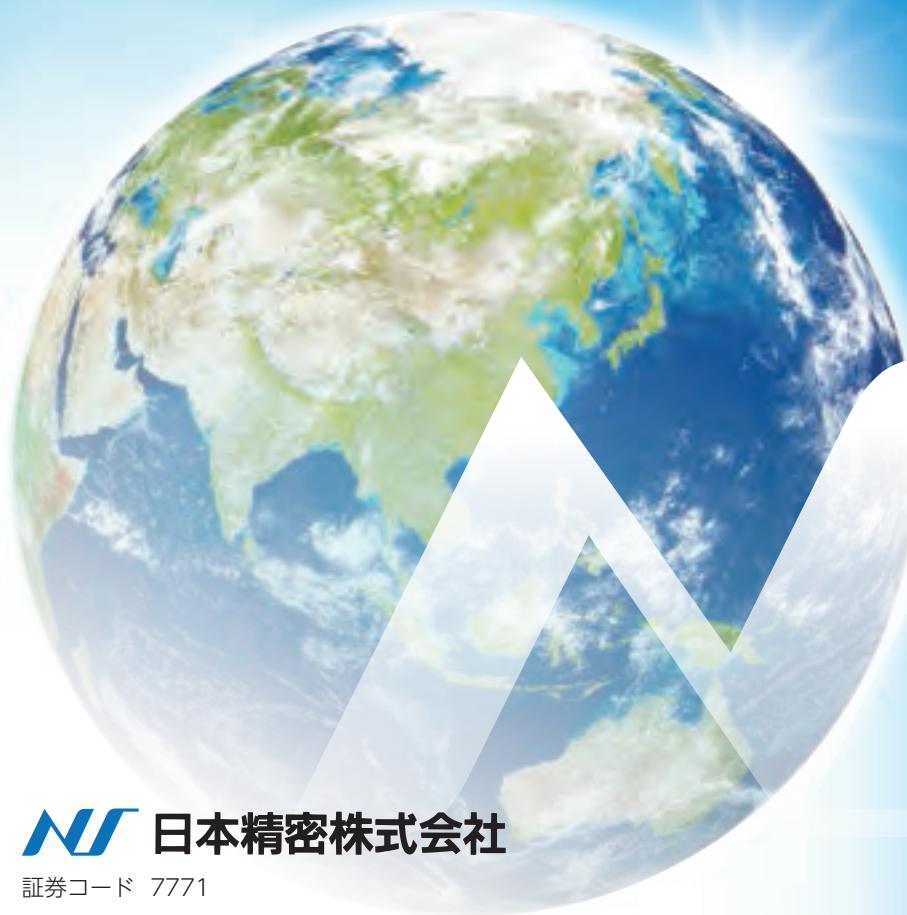


第 39 期 中間報告書
平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

INTERIM REPORT



N 日本精密株式会社

証券コード 7771

夢を持って、美を求め、形にする。

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。



DREAM.
BEAUTY.
FORM.

ごあいさつ

日本の“ものづくり技術”を世界へ。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「日本の“ものづくり技術”を世界へ。」をモットーに、1978年の創業以来、腕時計バンドの製造をメインにメガネフレーム等、精密部品加工業として業務を拡大してまいりました。

1991年以降、荒波のように変化する世界の経済状況に応じて常に業務革新を行い、主力製品である時計バンドの低価格化、マस्पロダクト製品などの海外生産化を実現し、世界市場で勝てるコスト競争力で対応しております。

当社の『人材力』は、6つのチカラ「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」をベースに国内一流企業や海外メーカーの高いニーズに応じております。

私たちメーカーの責任としてデザイン、ファッション、トレンドを常にキャッチアップし、絶えず斬新な発想で「高付加価値製品」を開発・提案・提供することで社会に貢献していける企業であるように社員一丸で臨みます。

さて、当社の第39期中間報告書（第2四半期連結累計期間、平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

岡林 博

平成28年12月

当第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期という。)における我が国経済は、米国経済は堅調に推移しているものの、英国のEU離脱に伴う金融市場の混乱、中国や新興国経済の減速懸念などの海外情勢に加え、国内では個人消費は依然として低迷しており、為替相場も徐々に円高が進行するなど先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成30年3月期の利益計画「ASEANプロジェクト」の4年目を迎え、「生産能力の増強」「サプライチェーンの構築」「更なる付加価値製品の提供」をテーマに、計画の達成に向けて引き続き取り組んでおります。製造子会社であるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.においては、6月に完成した表面処理専用の新工場(平成27年9月着工)が8月から本格稼働を開始、これにより生産能力及び生産効率が向上する見込みです。また、更なる生産効率の向上に向けて、半自動化・オートメーション化も引き続き推進しております。同じくNISSEY CAMBODIA CO.,LTD.の敷地内では、新工場(NISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD.)建設の着工に向けて準備を進めております。これらの取り組みと並行して、その他事業であるウェアラブル関連や健康器具等の新規顧客との取引拡大など、受注促進にも注力してまいりました。一方、円高の影響による売上高の減少に加え、とくに販売単価の下落や消費の節約志向などにより、国内

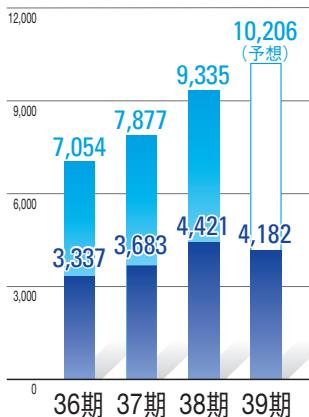
眼鏡市場は厳しい環境が続いております。その結果、当第2四半期の連結売上高は4,182,525千円(前年同四半期は4,421,117千円)となりました。

損益につきましては、売上総利益は、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.において、円高の影響による製造コストの低減はありましたが、時計関連の取引先の在庫調整などによる受注の減少、半自動化・オートメーション化は推進しているものの一時的な人手不足による残業時間の増加による人件費の増加、そして繰越在庫の減少に加え、円高によるグループ全体の売上の減少などの複数のマイナス要因が重なり716,087千円(前年同四半期は1,088,387千円)となりました。営業損失は、売上総利益の減少により215,171千円(前年同四半期は営業利益152,858千円)となりました。経常損失は、前期末からの急激な円高による外貨預金及び外貨建て債権、在外子会社の円建て債務等の為替評価損の計上などにより399,611千円(前年同四半期は経常利益101,696千円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、製品安定供給準備金200,000千円を特別利益に計上しましたが、個別の黒字決算による法人税等の計上などもあり226,649千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益62,977千円)となりました。

連結業績ハイライト

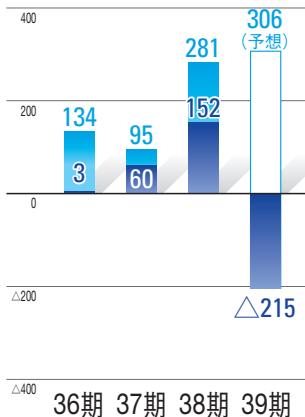
売上高 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



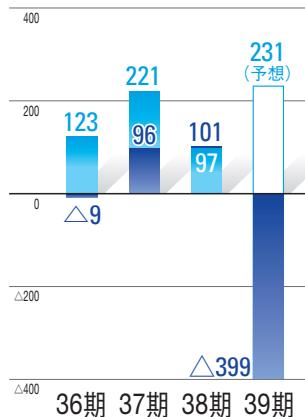
営業利益 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



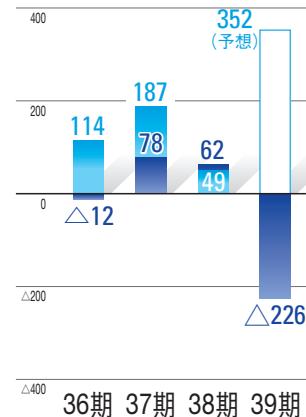
経常利益 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)

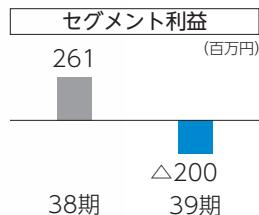
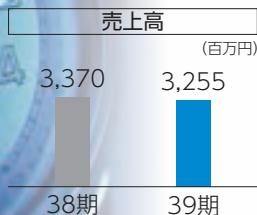
■通期 ■第2四半期(累計)



時計関連

売上高
構成比

77.8%



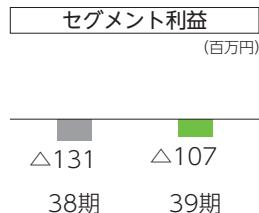
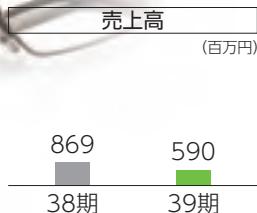
営業の概況

時計関連の売上高は3,255,505千円となり、前年同四半期比で114,951千円減少しました。このうち、時計バンドの売上高は、海外の取引先などからの高付加価値製品の受注増加により、円高の影響による受注減少をカバーし微増となりました。一方、時計部品の売上高は、円高の影響や取引先の在庫調整等による受注減少などにより、大幅な減少となりました。これにより、前述した売上総利益の減少もあり、セグメント損失は200,697千円(前年同四半期はセグメント利益261,314千円)となりました。

メガネフレーム

売上高
構成比

14.1%



営業の概況

メガネフレームの売上高は590,895千円となり、前年同四半期比で278,617千円減少しました。このうち、(株)村井の売上高は、新規に投入したブランドは好調なもの、海外売上減少、また国内の市場環境は一層厳しくなっており、取引先の在庫調整等による受注減少などにより、238,921千円の大幅な減少となりました。また、当社のメガネフレーム部門の売上高は、大型チェーン店や大手メーカーからの受注減少などにより39,696千円の大幅な減少となりました。

しかしながら、(株)村井の利益重視の営業活動の実施、円高による仕入コスト及びロイヤルティの減少、コスト削減などにより赤字幅は縮小し、セグメント損失は107,753千円(前年同四半期は131,549千円)となりました。

その他

売上高
構成比

8.1%



営業の概況

その他の売上高は336,123千円となり、前年同四半期比で154,976千円増加しました。釣具用部品は減少、静電気除去器は微増でしたが、新規製品であるウェアラブル関連及び健康器具の売上が著しい増加となりました。

これにより、セグメント利益は82,662千円(前年同四半期は15,873千円)となりました。

ベトナム第4工場、本操業を開始

平成28年6月に竣工いたしましたベトナム第4工場は、表面処理専用工場として使用しております。7月中旬より第2工場の設備を移管し、サンプル生産を行った後、8月上旬には本操業を開始いたしました。また、今後は顧客の需要に応じた追加設備の導入も検討し、表面処理工程の集約化と処理能力の向上を見込んでおります。さらに、従来の第2工場が、加工～研磨等の工程を行う第1工場、第3工場から約400mと非常に離れた場所にあったのに対し、このたびの第4工場は第1工場に隣接し、両工場間を渡り廊下で繋いでおります。これにより生産効率についても向上することを見込んでおります。

ベトナム第4工場の設備設置は1階部分のみとし、上階はオートバイが2,000台規模で駐車可能な駐車場といたしました。駐車場に向かう建物側面のスロープは両面に2スロープ用意し、約2,700名に増加した工場員が、短時間でスムーズに駐車して始業できるようにするなど、細かい点にも配慮した工場となっております。



四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	3,922,589	4,131,558
固定資産	2,850,156	2,778,054
有形固定資産	2,269,590	2,125,623
無形固定資産	422,024	465,512
投資その他の資産	158,542	186,918
繰延資産	31,033	40,869
資産合計	6,803,780	6,950,481
負債の部		
流動負債	2,705,239	2,912,738
固定負債	1,726,037	1,523,604
負債合計	4,431,277	4,436,342
純資産の部		
株主資本	2,351,636	2,483,783
資本金	1,868,253	1,820,976
資本剰余金	1,851,358	1,804,081
利益剰余金	△1,326,609	△1,099,959
自己株式	△41,366	△41,314
その他の包括利益累計額	20,866	27,513
その他有価証券評価差額金	10,494	25,117
為替換算調整勘定	10,371	2,395
新株予約権	—	2,841
純資産合計	2,372,502	2,514,138
負債純資産合計	6,803,780	6,950,481

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 累計 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	4,182,525	4,421,117
売上原価	3,466,437	3,332,730
売上総利益	716,087	1,088,387
販売費及び一般管理費	931,258	935,528
営業利益又は営業損失(△)	△215,171	152,858
営業外収益	20,315	8,771
営業外費用	204,755	59,932
経常利益又は経常損失(△)	△399,611	101,696
特別利益	201,952	—
特別損失	5,156	474
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△202,815	101,222
法人税等	23,834	38,244
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△226,649	62,977
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△226,649	62,977

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 累計 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,011	119,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471,621	△358,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,050	713,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,985	△9,575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,546	465,410
現金及び現金同等物の期首残高	1,046,670	399,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	889,124	864,782

会社概要

商号	日本精密株式会社
設立	昭和53年8月
本社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階 TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356
資本金	1,868,253千円
従業員	78名(連結3,910名)
事業内容	時計バンド及び時計外装部品の製造、販売 メガネフレームの製造、販売 イオンプレーティング(表面処理加工) 鈎具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
主要な関係会社	NISSEY VIETNAM CO.,LTD. NISSEY CAMBODIA CO.,LTD. 株式会社村井

役員

代表取締役社長	岡林博
取締役	井藤秀雄
常務執行役員	
取締役	白坂敬次
上席執行役員	
取締役	権経訓
取締役	黄仁昶
取締役	権敬
取締役	柳奉錫
社外取締役	柳南圭
常勤監査役	中嶋春樹
社外監査役	佐藤和彦
社外監査役	松村正哲
上席執行役員	朴成鎮
上席執行役員	新井富之
上席執行役員	上林一男
執行役員	山田幸三
執行役員	守屋豊
執行役員	黒澤泰明
執行役員	阪井明男
執行役員	柴崎照夫

株式の状況

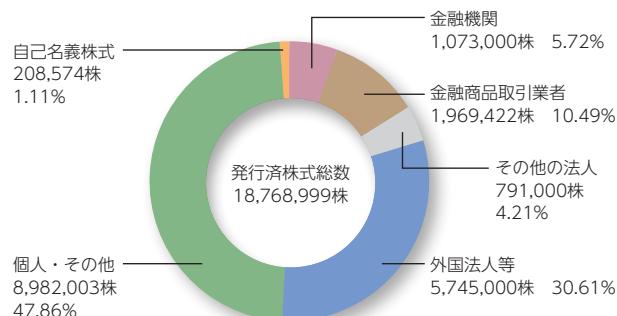
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	18,560,425株(自己株式208,574株を除く)
株主数	1,755名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ジェンコ	4,119	22.19
キュキャピタルパートナーズ株式会社	1,119	6.03
株式会社SBI証券	611	3.29
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	465	2.51
日本証券金融株式会社	441	2.38
楽天証券株式会社	414	2.23
井藤秀雄	300	1.62
松井証券株式会社	300	1.62
日本精密社員持株会	251	1.35
CREDIT AGRICOLE (SUISSE) S.A. SINGAPORE BRANCH	249	1.34

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL http://www.nihon-s.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他の やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告 いたします。)

ご案内

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届け出について
株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について
特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金について
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。



日本精密

検索

<http://www.nihon-s.co.jp/>